

編集後記

技術室報告第9号をお届けいたします。

お百姓さんは良い作物を育てるため、まず“土作り”をされます。環境状況の違いから“土作り”には年月がかかるようです。しかしながら、お百姓さんは良い作物を育て収穫するため、試行錯誤しながら“土作り”に精進され、苦勞と努力を日々積み重ねられるのではないのでしょうか。

老婆心ながら、われわれ技術員も技術支援を行っていく上でも、この“土作り”の精神は大切ではないかと考えます。防災研究所あるいは研究者が何を求め、技術室あるいは技術職員に何を期待されているのかを考え、研究者と一体となり、時代に即した技術支援をやらなければなりません。そのためには、何事にも対応できる基礎学力の取得や経験の蓄積のための努力が、すなわち“土作り”ではないのでしょうか。

今回の技術報告に掲載されている技術支援、学内外での技術支援等は、日頃の努力の成果をまとめた技術室あるいは技術職員の成果の一部です。できるだけ多くの方々に読んでいただき、少しでも参考になれば幸いです。なお、今回の技術報告に投稿されていない方々も、それぞれの職場で日々努力していますことを申し添えておきます。

ここに技術室報告第9号をお届け致します。今後の技術室における技術支援に参考にさせていただきたいと思っておりますので、どうか皆様方のご意見、ご批判を心からお待ちしております。

最後になりましたが、投稿いただきました多くの技術員の皆様に深く感謝し、この場をお借りしてお礼申し上げます。

2008年3月 出版委員長 中尾節郎

《出版委員》

浅田照行 企画情報班
園田保美 企画情報班
高山鐵朗 観測班
中尾節郎 企画情報班
藤原清司 機器運転班
松浦秀起 企画情報班
吉田義則 室長
和田博夫 機器開発班

技術室報告

第9号

2008年3月 発行

発行者 京都大学防災研究所 技術室

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

Tel.0774-38-4320 Fax.0774-38-4291